



# 田川地区平和センター

Email tagawachiku-heiwa@sound.ocn.ne.jp

URL https://ta-heiwa.com/ 鶴岡市泉町8番57

編集発行  
田川地区平和運動推進  
労働組合センター教宣部



## 新年 謹賀

# 核も戦争もない平和な21世紀に！

### 議長念頭挨拶

新年が、皆様にとりて、安寧な年となりますよう、心より祈念いたします。

議長 船見信一



#### ◇平和への綱引きに加わり行動を◇

昨年度の総会で、議長に就任しました船見信一です。よろしくお願ひいたします。

新しい年を迎えましたが、世界に目を向ければ、今尚、戦火の中で怯える人々の日常があります。新年早々、国際法に違反して米国がベネズエラを攻撃し、世界の戦争が拡大しています。「武力で平和は築けない。」この歴史の教訓が、かつてないほど重く問われる一年が始まりました。

私たちの国が戦後歩んできた「不戦の誓い」は、決して過去の遺物ではありません。

それは、次世代に手渡すべき最も尊い財産であり未来を創るための道標です。私たちは今、あらゆる場面で戦争と平和の綱引きをしている真の最中ではないでしょうか。高市政権は台湾有事や核武装問題で理性を失っています。私たちは、ありつたけの手と力を集めて、片時の綱引きの手を緩めず平和に向けての「綱を引っ張り続けなければ、何がきっかけで国民の命が危険にさらされるかわかりません。「命の尊厳」を一番大事にし、二つよりも多くの人が、平和への綱引きに加わり、共に行動をしましょう。

田川地区平和センター等で構成する「アジア・アフリカ支援米実行委員会」は、支援米の生産とアジア・アフリカの飢餓国への贈呈に取り組んでいます。一昨年から鶴岡市の「子ども食堂」にも贈呈しています。12月11日、支援米実行委員会から60kg、鶴岡共同ファームから70kg、合計130kgのはえぬぎを子ども食堂に増呈しました。

左←記事は、庄内日報2025年12月13日より転載

## 米130キロ子ども食堂に贈る 県労農市民会議と鶴岡協同ファーム



菅原部長に米を贈る五十嵐さん(中央)と船見議長(左)を行っている。

この日の贈呈式は市総合保健福祉センターにておこなわれ、船見議長と小泉信三顧問、鶴岡協同ファーム担当社員の五十嵐翔馬さんが訪問し、精米した10kg入りのはえぬぎ13袋を菅原青健康福祉部長に手渡した。

船見議長は「多くの皆さんの協力でたくさん米を収穫することができた。地域の子どもたちにおいしく味わってほしい」とあいさつ。菅原部長は「米価高騰の中、たくさん米を頂き感謝。子どもたちも運営事業者も大変喜ぶ。子どもたちの健康やかな成長のため有効活用する」とお礼を述べた。

食とみどり・水を守る山形県労農市民会議アジア・アフリカ支援米実行委員会(船見信一議長)と鶴岡協同ファーム(鶴岡市高坂、五十嵐一雄社長)は11日、子ども食堂で活用してもらうため鶴岡市にはえぬぎ130kgを贈った。

田川地区平和センターの関係者などで構成する同実行委は、1997年から減反田などを活用して作った支援米をアジア、アフリカ圏の途上国へ送っている。物価高騰などを受けて近年は「地域の未来を担う子どもたちからしっかりと食事を取ってほしい」と、鶴岡市を通じて市内で活動する子ども食堂へ米を寄贈している。鶴岡協同ファームは、ほ場を提供し、実行委の委託を受けて贈呈用の米作り

今回寄贈された米は子ども食堂を運営する鶴岡市母子会、明日のたね、こどもの森食堂、はらんだすの4団体に配分される。



田植え



稲刈り

アジア・アフリカ支援米実行委員会では、鶴岡市民田の五十嵐一雄さんの圃場を借りて5月に田植え、10月に稲刈りを実施しています。子どもたちも田植えや稲刈りを体験しています。是非参加下さい。

また、田植えの時に苗を持参したバケツに苗を植え育成し、稲刈り時には、バケツ稲コンテストを実施しています。賞品もあります。